

事業基本設計について

◇基本コンセプト

- ①周辺環境との調和
- ②機能性に配慮した施設構成
- ③会葬者のプライベート性に配慮した施設
- ④高齢者や障害者に配慮し、機能的に誰でも利用しやすい施設
- ⑤環境対策と環境保全に配慮した施設
- ⑥寒冷地対応に配慮した施設



案内図

◆内観イメージ



告別室



待合ロビー・光庭

○建物概要

デザインコンセプト

現代和風

- ・周辺の自然環境や街並みに配慮し、建物の高さは低く抑え、シンプルなデザインです。
- ・落ち着きと気品を備え、近づくと和風でモダンな品格を感じさせる外観とします。
- ・個人の尊厳を敬い、遺族の気持ちを和らげ、厳粛で静寂な空間で落ち着いて最後のお別れができるような空間とします。
- ・和のデザイン要素として、格子、^{ひまし}庇を取り入れ、庇の重なりで和のイメージを創出します。
- ・外部空間との^{れんけい}連繋を図り、光庭等により日本的な情緒感を醸成します。

敷地面積：約5,800㎡

建築面積：約1,900㎡

延べ面積：約1,700㎡

最高高さ：約9m

建物規模：地上1階

構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

炉設備：4基

駐車台数：会葬者21台、身障者用1台、中型バス3台、管理用4台



火葬場平面イメージ

◇問合せ…環境安全課（内線1167）

湖北火葬場建替え整備

◆外観イメージ



〈現在地にて建替えを行います〉

湖北行政組合では、湖北火葬場（長地片間町）の建替えに伴う新施設の基本設計がまとまり、組合議会全員協議会に報告されました。

この施設は、周辺の街並みに配慮したシンプルな現代和風の外観で、内部に光を多く取り入れた設計となっています。

また、環境・省エネ・プライベート性に配慮されています。

平成18年度に湖北火葬場建替え整備の基本設計が作成され、3月16日には都市計画決定（岡谷都市計画火葬場の決定）の県知事の同意を受け、3月28日付で決定公告がされました。

今後の予定としては、平成19年度に実施設計を作成し、平成20年度から建設工事に入り、平成21年度中の完成をめざします。

○設計主旨

◇施設整備の基本理念

これからの火葬場は、厳粛の中にも清楚で安らぎのある施設でなければならないと考えます。
本施設は、将来の多様なニーズにこたえられ、末永く利用され、人生の終焉しゅうえんを送るにふさわしい施設となるように計画します。

<湖北火葬場の現況>

湖北火葬場は、昭和15年11月、現在地に岡谷市火葬場として建設され、64年が経過しています。

この間、平成2年度の火葬炉の更新をはじめ、炉設備、建物等の改修工事等を実施し、平成9年度からは下諏訪町との一部事務組合化により、湖北火葬場として維持管理に努めてきましたが、火葬炉設備も修理が頻繁になってきている状況です。

これらを踏まえ、人生を閉じる場として、また会葬者の方々が哀愁きわまりない心境の中で故人を偲しのび、お別れするにふさわしい場として住民ニーズに応えるため、現施設の建替え整備を図ります（平成16年度基本構想より）。